

大学入試改革に向けて ～豊田高校英語科の取組～



【現行の大学入試からの主な変更点】

1 大学入学センター試験について

「大学入学共通テスト」に名称変更し、筆記 200 点とリスニング 50 点（計 250 点満点）が、これまで以上に読解問題が多くなる筆記 100 点（発音・アクセント問題や語句整序問題が出題されない）となり、リスニングは 100 点へと変更される。筆記：リスニングがこれまでの 5：1 から 1：1 の割合になる。（ただし、大学ごとに配点が傾斜されることがある。）

2 国公立大学入試について

英検などの外部検定試験の導入は見送られたが、大学によっては個別の二次試験で 4 技能のバランスの良い英語の力が問われることになる。

【豊田高校英語科の取組】

1 今まで行っていたリスニング演習や講義の改善

- (1) 補助教材の変更（センター試験対策のみ → 4 技能をバランスよく伸ばす）
- (2) ディクテーション（聴き取り原稿の書き起こし）を行う

2 読解演習の変更

- (1) 低学年からの読解自主学习教材の配付
- (2) 週末課題でも初見の英文を読む訓練（ワークブックなどで授業内容の復習 → 自力で初見の英文を読み解く読みものを追加）
- (3) 授業で読む英文（コミュニケーション英語 I・II）には各パート英文の語数を載せて、自分の読解速度（wpm = word per minute）を意識

3 4 技能を総合的に伸ばす

- (1) スピーキングの経験（補助教材＝即興で話す、描写する、意見を述べる）
- (2) 4 技能型外部検定試験の奨励（英検は取得級によっては単位認定をする）
- (3) ライティングの機会を増やす（添削指導、文章構成を考えさせる）

がんばれ、豊高生！

英語科一同、応援しています！

